

# 校長室だより

令和7年9月 5日 (金)  
第 19 号  
十日町市立中条中学校校長室

## 当校の社会性育成の実態（自己有用感と人間関係づくり）

4つの社会性のうち、今回は「自己有用感」「人間関係づくり」について説明します。

### 「自己有用感」と「自己肯定感=自尊感情」について

平成27年3月に国立教育政策研究所から発行された「生徒指導リーフ」の『自尊感情』？それとも『自己有用感』の中には以下のように説明されています。

「自己有用感」とは、他の人の役に立った、喜んでもらえたなど、自分と他者（集団や社会）との関係を肯定的に受け入れることで生まれる評価です。

「自尊感情」とは、Self-Esteem の訳語であり、自己に対して肯定的な評価を抱いている状態、自分自身を価値ある存在として捉える感覚です。「自己肯定感」とも呼ばれます。

人の役に立った、人から感謝された、人から認められた、という「自己有用感」は、自分と他者（集団や社会）との関係を自他共に肯定的に受け入れられることで生まれる、自己に対する肯定的な評価だからです。

- 日本の児童生徒の場合には、他者からの評価が大きく影響する。
- 「褒めて（自信を持たせて）育てる」という発想よりも、「認められて（自信を持って）育つ」という発想の方が、子どもの自信が持続しやすい。

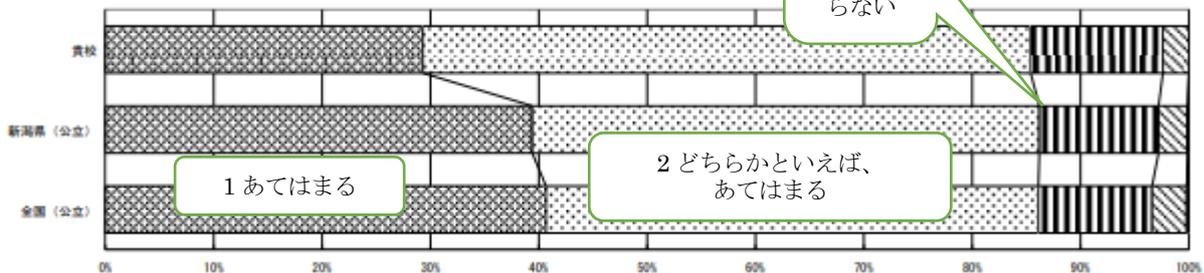
「自己有用感」は「他者からの評価が大きく影響する」点がポイントです。

### 当校の社会性の実態について（全国学力・学習状況調査の結果より）

生徒質問紙調査「自分には、よいところがあると思いますか」の質問



| 質問番号    | 質問事項                |      |      |     |   |   |   |    |     |     |  |
|---------|---------------------|------|------|-----|---|---|---|----|-----|-----|--|
| (5)     | 自分には、よいところがあると思いますか |      |      |     |   |   |   |    |     |     |  |
| 選択肢     | 1                   | 2    | 3    | 4   | 5 | 6 | 7 | 10 | その他 | 無回答 |  |
| 貴校      | 29.3                | 56.1 | 12.2 | 2.4 |   |   |   |    | 0.0 | 0.0 |  |
| 新潟県（公立） | 39.4                | 46.8 | 11.0 | 2.7 |   |   |   |    | 0.0 | 0.1 |  |
| 全国（公立）  | 40.7                | 45.5 | 10.5 | 3.2 |   |   |   |    | 0.0 | 0.2 |  |



この質問の回答の結果から、当校生徒の「自己有用感」の肯定的評価は、85.4%で、全国平均、県平均（ともに86.2%）より低く、かつ例年よりも低い結果でした。

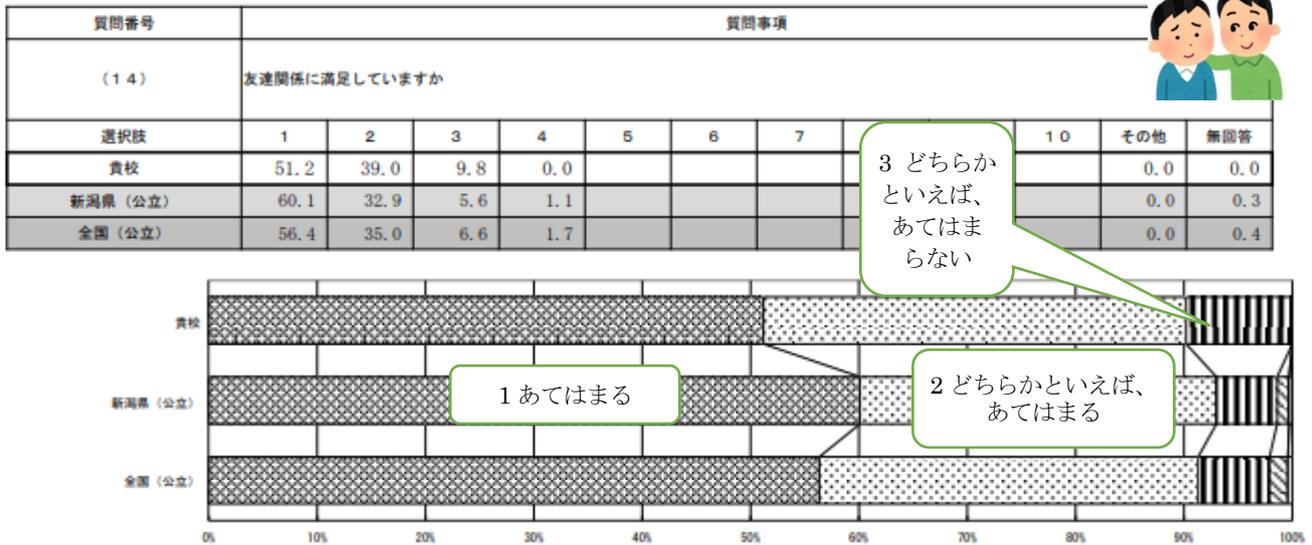
とてもよい生徒たちだと思うのですが、自分に自信がないのかなと思います。限られた人間関係の中では、なかなか自分の良さを自覚できないことも多いと思います。様々な活動や多様な人とかかわりを通して、声かけや評価してもらい自信を付けさせたいと思います。生徒にも教職員にも、「よい面を認めていきましょう」と言っています。普段の学校内の限られた人間関係の中では、評価される場面が少ないかもしれません。学校行事はよいとこ

ろを見つけ合う絶好の機会です。また、社会性の育成、特に自己有用感については、いかに生徒が様々な人と関わる場面を作り、普段接する機会の少ない人から評価してもらうことが大きく影響すると言われていています。小中連携や家庭や地域との関わりが大切な場面です。

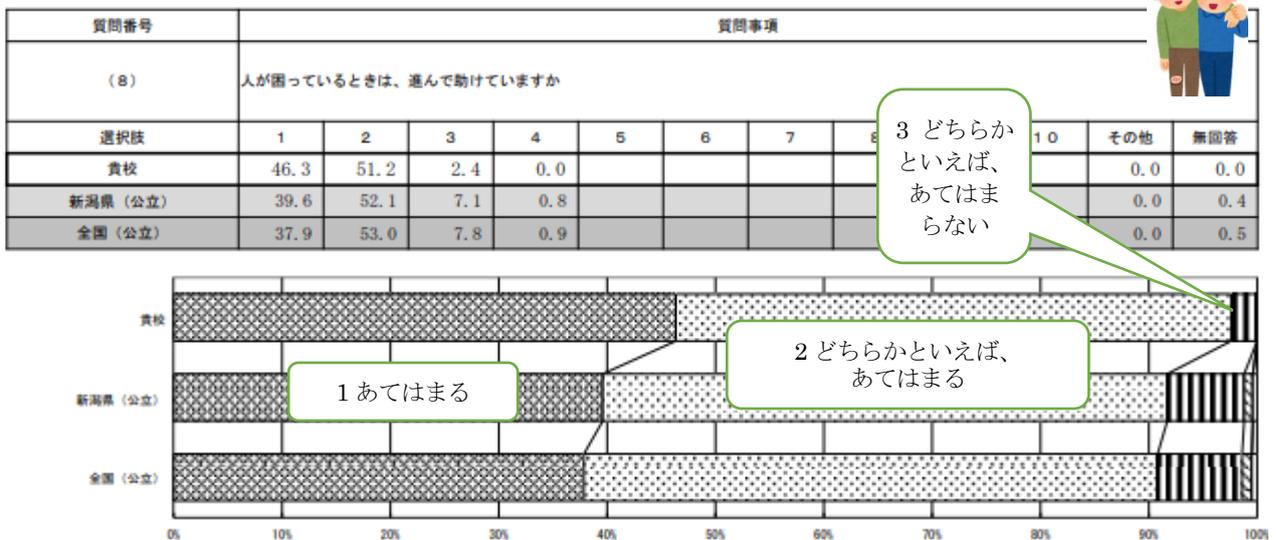
### 社会性の「人間関係作りの能力」について

「人間関係作りの能力」に関わると思われる質問の結果です。

「友達関係に満足していますか」の質問に対して、肯定的な回答が90.2%でした。これは、昨年度より数値が下がっており、県平均、全国平均を下回っています。



また、「人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問には、肯定的な回答が97.5%でした。この質問は県・全国平均を大きく上回っています。人を幸せにする「高志丘の精神」が貫かれていると感じます。



当校の生徒同士の人間関係は概ね良好だと思っはいます。しかし、それは「固定的な限られた人同士だからでは」と感じることもあります。いつも一緒にいる人とうまくいかなくなると「どうしたらいいかわからない」と訴える人もいます。

中学卒業後はそれぞれの進路で、多様な人たちと関わらなければなりません。新たな人間関係を築く術を知っておく必要があります。2学期、外部講師を招聘して、人間関係づくりのトレーニングの機会を設けます。

